

令和6年度事務事業【事後評価】評価対象事業

番号	所属	事務事業名	事業内容	令和6年度（決算額）				行政評価 委員会 （評価）	評価理由
				事業費経費（単位：千円）			特定 財源		
				計	人件費	事業費			
1	企画政策課	男女共同参画事業	【いすみ市男女共同参画講演会】 ・日時 令和6年10月26日 ・場所 岬公民館 ・講師 石井食品株式会社 代表取締役執行職員 石井 智康氏 ・題名 育休取得がもたらす個人・家庭・組織への効果 ・参加者数 51名 【千葉県男女共同参画地域推進員事業 東上総地域講演会】 ・日時 令和6年12月8日 ・場所 一宮町中央公民館 ・講師 東京大学大学院 教授 瀬地山 角氏 ・題名 笑って考える男女共同参画 ～家庭・仕事・未来をみつめて～ ・参加者数 86名	60	0	60	0	改善 継続	年1回の講演会だけでなく、広報誌やホームページなど啓発の手段や市民周知の機会を確保し、年間を通じて継続的な活動を行うなど、改善・拡充していくことが望ましい。
2	子育て支援課	新入学児童軽量 ランドセル配付事業	市に住所を有する新入学児童に軽量ランドセルを配布する。令和6年度（令和7年度新入学児童）は193個。軽量ランドセルの色・サイズは、7色3サイズの中から選べ、サンプルを展示し児童、保護者により選定。	2,153	30	2,123	0	継続	長期継続契約となっているため、使用状況、ランドセルの購入状況等の確認を行うなど、長期的・具体的な検証が必要である。
3	環境保全課	一般廃棄物処理対策事業	生ごみ処理機の導入に要する費用の一部について補助金を交付する。 【補助金の額等】 生ごみ処理機の購入額の1/2 （100円未満切捨て、限度額20,000円） 1世帯1基 【補助金交付対象者】 次のいずれにも該当する者 ①生ごみ処理機を購入した日において市内に居住し、かつ、市の住民基本台帳に記録されている者。 ②販売店等で新品の生ごみ処理機を購入し、当該生ごみ処理機を居住地に設置し使用する者。 ③生ごみ処理機を購入した者及び同一の世帯に属する者に市税の滞納がないこと。 ④いすみ市暴力団排除条例第2条に規定する暴力団員でないこと。 ※当該補助金の交付決定日の属する年度の翌年度の初日から起算して5年を経過していないものは、交付対象者としない。ただし、災害その他特別な事情により市長がやむを得ないと認めた場合は、この限りでない。	382	120	262	0	改善 継続	ごみの減量化への取組の一つとして有効であるが、焼却による温室効果ガスの排出量抑制・地球温暖化対策に繋がる取組に務めることも併せて、より周知啓発が必要である。
4	環境保全課	狂犬病予防・動物愛護 管理事業	地域猫の不妊手術に要する費用の一部について補助金を交付する。 【補助金の額】 不妊手術に要する費用の1/2以内の額（100円未満切捨て、1匹当たり限度額10,000円） 【補助金の交付対象者】 次のいずれにも該当する者 ①市内に居住し、かつ、市の住民基本台帳に記録されている者であって、地域猫活動を行っている、又は行おうとするもの ②地域猫に対する不妊手術に要する費用を負担する者 ③補助金の交付を申請する日において年齢が18歳以上である者 ④市税を滞納していない者 ⑤地域猫の管理を行う場所（給餌場等を含む。以下「活動場所」という。）の土地所有者等の同意を得ている者 ⑥地域猫活動について、活動場所に属する自治会の長等の同意を得ている者 ※上記にかかわらず、他の制度により同様の助成等を受ける場合は、交付対象者としない。	292	260	32	32	改善 継続	県補助金を活用した事業であることから補助対象者や条件等を見直すことは難しいため、より周知啓発を積極的に行うことが必要である。

令和6年度事務事業【事後評価】評価対象事業

番号	所属	事務事業名	事業内容	令和6年度（決算額）				行政評価委員会（評価）	評価理由
				事業費経費（単位：千円）			特定財源		
				計	人件費	事業費			
5	農林課	有機農業産地づくり推進緊急対策事業	【有機農業実施計画の策定】 有機農業実施計画の策定に向けた検討委員会を開催する（令和6年度に3回実施）。 【有機稲作技術指導委託】 いすみ市有機稲作の栽培技術力・経営力向上に向けた現地指導及び調査を実施する。 4月上旬頃、5月中旬頃、6月下旬頃、8月上旬頃、10月下旬頃、2月上旬頃 【有機野菜技術指導委託】 いすみに合った有機野菜経営モデルを確立し、経営力向上に向けた現地指導を実施する。 5月上旬頃、6月中旬頃、7月中旬頃、8月上旬頃、9月中旬頃、10月中旬頃、12月上旬頃、2月上旬頃 【有機稲作ほ場整備委託】 次年度に有機稲作転換予定ほ場を対象として、効率化、省力化を図るためほ場の均平化整備を実施する。 【土壌分析委託】 新規および既存の有機野菜ほ場の土壌分析を実施し、肥料の過剰施肥を抑え、環境負荷への配慮と安定生産を目的とした土づくりをおこなうため、より詳細な土壌分析を実施する専門機関へ委託する。 【有機JAS認証取得支援】 ブランド農産物である有機米の新たな販路拡大を目的とし、輸出事業を行っている事業者との商談を実施するため有機JAS認証を取得する。また、特別栽培農産物についても、地域認定ブランドの推進、地産地消、安全・安心な食の推進を図るため認証を取得し、ブランド農産物として販売促進を図る。 【有機農業先進地視察研修】 全国的に成功例と称される有機野菜産地に伺い、栽培技術や加工技術、流通などについて情報交換を行い、有機野菜産地化へ向けた情報収集を実施する。 【水田機械除草技術実証事業】 みのる産業株式会社の高効率水田用除草機を導入し、これまで雑草対策が十分に実施できなかったほ場で反収向上を実証する。	8,333	1,536	6,797	6,743	完了	評価のとおり協議会事業となったため、事業完了とする。
6	都市整備課	空き家対策実態調査業務	調査概要 （1）空家実態調査 現地調査候補地の全てに対して、現地外観調査 現地調査総数 3,937 件の内、空家等判定件数 1,079 件 （2）アンケート調査 現地調査にて空家等と判定した家屋の所有者へ今後の空家等の利用に関する所有者アンケート調査 アンケート調査件数 892 件の内、回収件数 540 件 60.5%	16,649	1,705	14,944	9,794	完了	全国的な空き家対策の問題。実態把握調査としては完了。
7	福祉課	就労準備支援事業（若年世代の生活支援）	相談（支援）事業委託団体：特定非営利法人 長生夷隅地域のくらしを支える会 相談日：相談者（要支援者）の申請、相談により調整のうえ適宜実施 相談（支援）場所：市内全域及び支援により訪問する市外関係機関 相談者（要支援者）が就労に至るまで定期的に支援 行政を含めた関係者による支援調整会議の開催（月/1回）	1,462	248	1,214	808	継続	家庭環境等に問題のある若者に対して就労準備等の相談・指導等を実施し、生活改善や社会との関わりを支援することは、今後も継続が必要だと思われる。
8	健康高齢者支援課	産後ケア事業の充実	兄弟がいるため産後ケア事業を利用したくても利用を控える母もいることから、令和6年度より兄弟の一時保育を利用できる環境を整え、産後ケアを必要とする母子のサービス利用を促進し、育児不安の軽減と心身の健康及び健やかな育児を支援する。 令和6年度の兄弟の一時保育利用は利用希望者11名中、利用者は実3件、延13件であった。	15,166	388	14,778	8,171	継続	引き続き事業を継続することが必要である。
9	健康高齢者支援課	孫の手生活援助事業	○対象者 日常生活に支障が生じている、いすみ市に住所を有し、居住している75歳以上のひとり暮らし又は75歳以上の者のみの世帯であり、市町村民税非課税世帯であること。 ○生活援助の内容 家の周りの草取り及び草刈り、生垣及び庭木の手入れ、家屋、家財、備品等に軽易な修繕及び移動 家庭ごみの収集及び搬出、日常生活用品の買い物 ○助成券の交付 利用世帯1世帯につき 1万円を上限に交付（R6年度より5,000円から10,000円に上限額の見直しを実施） ○利用できる事業者 市が指定事業者として協定を締結している事業者	1,152	480	672	0	継続	制限なく補助額を上げることは出来ないが、物価状況等を考慮しながら、補助額を変更していく必要がある。
10	農林課	森林環境整備基本計画策定	千葉県が作成した森林簿、森林計画図及び林相区分図等により、森林状況を把握した。樹種・樹齢及び地形を現地調査し、目指すべき森林整備の基本方針を1.水源かん養、2.山地災害防止、土壌保全3.快適環境形成機能4.保健・文化5.木材等生産の5つの機能的側面と1.経済林、2.近接林、3.里山林、4.環境林の4つの配置的側面から考察し、立地的に近い地域を1団として市内を7ゾーンに分別した。	3,850	0	3,850	3,850	完了	基本計画が策定されたことにより、今後は市内の意向調査、実行計画を進めていくことができる。